

船場人

SEBAJIN

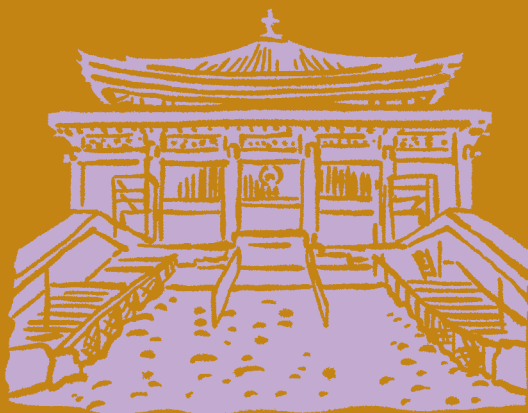
今日からあなたも船場人

船場ガイドブック

2025

集英地域活動協議会

船場倶楽部



特集

新船場の風



ようこそ船場へ

船場は豊臣秀吉の壮大な都市計画の中で誕生し長い歴史の中で栄枯盛衰を経験しながらも常に大阪の経済や文化の中核を担ってきました。昔ながらの整然とした格子状の街路を保ちつつさまざまな先進的なまちづくりも進んでいます。歴史と伝統が息づく泰然たるまちなみの中で今を生きる人々の活気ある営みにも出逢えます。そんな船場をよりよく知っていただくため私どもは毎年このガイドブックを制作しています。今回はメインテーマを「**船場の新風**」としました。さあ、今日からあなたも船場人。このガイドブックを手に船場のまちなみを散策し、その魅力と素顔を肌で感じていただければ私どもにとってもこれに勝る喜びはありません。

船場倶楽部 集英地域活動協議会

特集 船場の 新風

船場に雪？ これは2024年11月、北御堂の境内に出現した光景だ。めったに雪の積もらない大阪の街中で、雪をテーマにした体験型イベントが開かれ、子どもたちや若者を中心に大勢の人でにぎわった。同イベントは本年も開催され、恒例化が期待されている。

ほかにも、展覧会やお祭りなど、地域の人々を巻き込む新しい催しが始まっており、昔からの船場のつながりを活かした新しい取り組みもスタートした。

いずれにも共通しているのは、船場のまちに根付きたいという願いを持っていること、そして時代や地域を超えた広い視野を持っていること。

いま、船場で起こっている動きを「新風」としてご紹介しよう。どんな人たちがどんな風を起こしているのだろう。



写真提供: COWDAY実行委員会



元気な風

スポーツの話題をうつ。どちら子どもたちが参加できるのが特徴だ。ビジネス街や商店街にマシソンが建ち、船場で育つ子どもが増えている。季節のないまに雪を、繁華なまを美しく。環境にも良い楽しい風だ。

カウディストリート実行委員会運営責任者

稲村樹さん

本願寺津村別院(北御堂) 広報担当

安井英隆さん

冬の訪れを彩るビッグイベントに

長野県の白馬などで2015年から開催されている日本最大級のスノーボードイベント「COWDAY」。同シリーズの都市型イベント「COWDAY STREET」が2024年11月にスタートした。その会場が「北御堂」だ。

元日本代表選手で、同イベント運営に携わる稲村樹さんは、都市部で多くの人にスノー



写真は「COWDAY STREET 2024 in 大阪・北御堂」の会場風景。2025年も近隣の幼稚園、保育園に通う子どもたちにも楽しんでもらえるよう、イベント両日とも、ソリ、スノーボード、雪遊び体験ができる時間やスペースが設けられる。

インフォコムテクノロジー株式会社
代表取締役社長

田中務さん

インフラ基盤サービス課 副課長

白石和司さん

東横堀川沿いの「スポGOMI」

「スポGOMI」とは、「ごみ拾いはスポーツだ」を合言葉に、チーム対抗の競技としてごみ拾いを楽しむアクティビティ。社会奉仕活動を競技へと変換させた日本発祥の新しいスポーツとして注目され、2008年以来、これまでに1900大会が開催。国境を越えて、海外へも広がる動きを見せているという。

昨秋「スポGOMI in 東横堀川 2024」を開催し、地域に話題を呼んだのは、インフォコムテクノロジー株式会社。堺筋本町駅近くに本社をおき、東京に本店を構える、情報通信システムに関するコンサルティングや、ソフトウェアの企画開発などを行っているIT企業。帝人株式会社を親会社とした情報システム会社が、ルーツの一つ。

インフォコムテクノロジーが「スポGOMI」を初めて試みたのは、2021年愛媛県松山市での社内イベントだった。チームでごみを集め、最後に計量を行なって勝者を決める。制限時間は1時間、ごみの種類により点数が異なるなどのルールもある。



いなむら・たつき(左) 1995年、愛知県生まれ。スロープスタイル日本代表として活躍。現在は全日本スキー連盟の代表チームのコーチのほか、2018年からCOWDAYに携わる。
やすい・ひでたか(右) 1968年、大阪府生まれ。浄土真宗本願寺派僧侶。本願寺津村別院(北御堂)広報担当。

ボード競技を見てもらえる場所はないかと探していた2023年、初めて北御堂を訪れた。「大きな階段があつて、建物がカッコいい。ここでスノーボードができれば、間違いなく映える」。この場所ですぐに「そう思った。イメージは湧いたものの実現は不可能だろうと思っていたが、2024年6月、稲村さんたちの夢が大きく動き出す。

「お寺と地域を活性化できるイベントであれば、積極的に協力したい」と、北御堂の広報担当者である安井英隆さんから、賛同の返事があった。

社内「スポGOMI」責任者の白石和司さんは「思った以上のごみが集まり、まちがきれいになって、しかも参加者からは楽しかった！と大好評でした」という。

以降、オフィスのある山口県岩国市、福岡市と続き、2023年には4回目を、船場地域で開催。ちなみに、点数の高い吸い殻が、ほかのどの地域より大量に集まったとのこと。

「三方よし」の社会貢献活動

そして、「スポGOMI in 東横堀川 2024」には、子どもを含む合計50人が参加。

「過去4回の社内大会のノウハウを元に、社員だけでなく船場界隈の住民のみなさんにも参加していただく初めての大会となりました」と、白石さん。地域との交流や地域貢献活動を考えたとき、会場の研修会場に場を提供してもらっていた「β本町橋」と一緒に、船場



たなか・つとむ(左) 1965年、東京都生まれ。株式会社インフォコム西日本代表取締役社長から、2025年に合併したインフォコムテクノロジー株式会社代表取締役社長。
しらいし・かずし(右) 1980年、愛媛県生まれ。同社インフラ基盤サービス課副課長。「スポGOMI」の取り組みにより社内AWARDのCSR最優秀賞受賞。

お寺でスノーボードのイベントなど前代未聞、全国初の試み。その実現には、横のつながりが強いスノーボード人脈と、スポンサーのサポート、会場・北御堂の協力、そのどれもが欠かせなかった。稲村さんは協力を求めて全国を駆け回り、安井さんは地域の人々に理解を求めて、説明と周知に回る日々が続いた。

地域のみんなで育てていきたい

初開催の「COWDAY STREET 2024 in 大阪・北御堂」は、来場者延べ5000人、ライブ配信の視聴者5000人。入場規制を行うほどの大盛況となった。

「初めて境内に足を踏み入れたという方も多く、お寺の存在を知ってもらえました」と安井さん。スノーボードファン以外に、昼間は近隣の子どもたちが、人工芝に敷き詰められた雪の上で歓声を上げた。中には、初めて雪を見た、触ったという子もいて、船場という大阪の街中、しかもメインストリートの御堂筋で、季節を知る貴重な場となった。

「開催にこぎつけるまで、商店街の老舗の会長さんをはじめ、地域の方に応援していただきました。まちの風物詩となるように一緒に育てていきたい」と稲村さん。新しいにぎわいの風が吹いてきた。



2024年の参加者は50人。「地域に貢献できてうれしい」「ごみが宝物に見えたのは初めてです」といった声も。優勝者には「サステナビリティ・カタログギフト」が、参加者全員に記念品が贈られ、大いに盛り上がった。

地域での開催を進めていったそうだ。2025年は11月16日に開催。昨年の2倍となる1000人の参加を見込む。

「船場は大企業も個人商店もあり、最近に住民も増えて、今また新たなパワーを蓄えつつあると感じます。弊社の前身企業の一つである帝人も長く船場にあり、まさに恩返しをしたい思いもあります」と、社長の田中務さん。社長室からは船場のビジネス街が一望できる。「まちを清潔にしながら、企業が地域の人とながりを待つ。それは「買い手よし、売り手よし、世間よし」の「三方よし」にも通じる活動」だと田中さんはいふ。

船場の街中は一見するときれいだ、足もとを見て歩くと、確かにタバコの吸い殻が落ちている。高得点が期待できても、決してそれは喜ばしいことではない。IT企業という、これまでの船場のまちづくりでは接点が少なかった業態の会社が起す風は、まちで生きる人に、新しい視点を与えてくれる。



「スポGOMI」を考案したのは日本財団のスポGOMI連盟。

スポGOMI in 東横堀川 2025

本町橋4丁目8 β本町橋
2025年11月16日(日)
supogomi2025@infocom-tech.co.jp
※情報はp15参照 map 2



「スポGOMI」は3〜5人で1チーム。参加資格は中学生以上で、小学生は保護者と一緒に参加。公平になるよう、子どものいるチームにはハンディをつけている。



「スノーボードレールコンテスト」の大会予選と決勝は11月22日(土)。

COWDAY STREET 2025 in大阪・北御堂

本町4丁目1-3 本願寺津村別院(北御堂)
2025年11月22日(土)・23日(日祝)
見学無料(一部有料)
info@cow-day.jp ※情報はp15参照 map 1



2025年の同イベント内「スノーボードレールコンテスト」は、国際スキー・スノーボード連盟公認のアジアカップのレール種目競技となる。



アートの風

船場は、「大大阪」と呼ばれた大正期の大阪の中心地。だからか、当時のアイコンが似合う。アメリカ生まれの神様ビリケンさん、そして写真。ビリケンと、フィルム写真にフォーカスした取り組みをそれぞれ紹介。

田村駒株式会社ブランドビジネス室室長

西川博之さん

田村駒株式会社ブランドビジネス室

中山奏子さん

ビリケンアートで大阪を元気に

繊維の専門商社である田村駒株式会社の本社前の公開空地に、「船場のビリケンさん」のブロンズ像が現れたのは2024年3月のこと。創業130周年の記念事業の一つとして設置され、多くの人がお祝いに駆けつけた。ビリケンさんといえば、新世界・通天閣のイ



にしかわ・ひろゆき(左) 1967年、大阪市生まれ。1999年、田村駒株式会社ブランドビジネス室に配属。2022年より「ビリケンクリエイターズオーサカ」実行委員。
なかやま・かなこ(右) 1993年、神奈川県生まれ。2022年、同上部署に配属。同実行委員に。

メージが強いが、もともとはアメリカ生まれの「幸福の神様」。日本では、田村駒の創業者、田村駒治郎氏が1911年に同社の代表的商標として登録。翌年、新世界にビリケン像が登場する。「船場のビリケンさんは、待ち合わせ場所になるなど、船場のランドマークとして認知され始めている。



2025年3月の「ビリケンクリエイターズオーサカ」に集まったクリエイターの皆さん。新しい発想とセンスで、ビリケンさんのイメージが広がっていく。

その盛況ぶりを受け、これまでプロと学生の2部門で募集していたのを、次回からは5つのカテゴリーに分け、絵画やイラストなどの平面作品だけでなく、立体作品やフィギュアペイントなども広く募集することになった。

船場の名物イベントに

「田村駒は船場で生まれ、このまちに育てていただいた会社です。私たちは『ビリケンクリエイターズオーサカ』を船場の名物イベントに育てて地域貢献をしたいという思いを強く持っています」と語るのは、ブランドビジネス室長の西川博之さん。「商売も大事ですが、文化的な取り組みも大切。この仕事を担当していることに誇りを持っています」とも。多くのクリエイターや企業とコラボレーションしながら活動する西川さんと中山さん。「船場のビリケンさん」もまだまだこれからだが、ビリケンさんが「通天閣の『でも船場の』でもない、「大阪のシンボル、ポップカルチャーのアイコン」として育ち、さらにボードレスな幸福のキャラクターとして、世界中にラッキーを振りまいてほしいと願っている。



ビリケンクリエイターズオーサカ 2026

安土町3丁目3-9
田村駒本社ビル2階ホール
2026年3月12日(木)～15日(日)
入場無料
info@billiken.co.jp
※情報はp16参照 map 3



参加クリエイターの中から、優秀作品、人気作品を選出。「オーディエンス賞」は、会場を訪れた人の人気投票により決定。

ギャラリー・ソラリス代表

橋本大和さん

ギャラリー・アビィ代表

吹雪大樹さん

オオサカフィルムフォトウィーク開催

「オオサカ・フィルム・フォトウィーク」は、大阪市内にある5つの写真ギャラリーが共催するフィルム写真展週間。元は南船場の4つのギャラリーが2012年に始めた「南船場フォトウォーク」が母体。2017年からは範囲を広げ、南船場に限らず大阪市内のギャラリーで開催するフィルム写真展として継続された。展覧会は同時期にそれぞれのギャラリー独自の企画で行うが、作品はフィルムカ



「OSAKA FILM PHOTOWEEK」実行委員会事務局スタッフ はしもと・ひろかず(左) 大阪市生まれ。2008年、南船場の写真ギャラリー「ナダール大阪」店長に。2015年、同地で「ギャラリー・ソラリス」オープン。
ふぶき・たいじゅ(右) 1971年、大阪市生まれ。テレビカメラマンを経て写真家に。2005年、「ギャラリー・アビィ」オープン。

メラで撮影した写真に限られる。

「オオサカ・フィルム・フォトウィーク」実行委員会事務局のスタッフで、「ギャラリー・ソラリス」代表の橋本大和さんによると、南船場には昭和の頃からカメラのショールームやギャラリーが多いという。

「写真のまちともいえる南船場を中心に、市内のギャラリーを回りながら、フィルム写真の魅力を再発見してもらえたら」と、同じく事務局スタッフで「ギャラリー・アビィ」代表の吹雪大樹さんも語る。

フィルム写真の魅力でつながる

2025年は10月初めに、南船場の「ギャラリー・ソラリス」「ギャラリー・アビィ」のほか、生野区の「BEATS」、住吉区の「ギャラリー・ライムライト」、そして「E:壹燈舎」は谷町6丁目、と大阪市内の5拠点でフィルム写真の展覧会を同時開催した。

大阪農林会館にある「ギャラリー・ソラリス」では「FILMING」と題し、展覧会とともに暗室を体験できる初心者向けのワークショップを、順慶ビルにある「ギャラリー・アビィ」では「魔法のカメラ☆ポラ&チェキ展」と題した、ニッテナインスタント・フィルムカメラの展覧会を行った。

展覧会に訪れるのは、やはり写真撮影が趣味という人が多く、長年のフィルム写真ファンからは「フィルムは工業製品だし、近いうちになくなってしまいかもしれない。今ならぎ



現在につながる「南船場フォトウォーク」1回目(2012年)の会場風景。ナダール大阪(現ギャラリー・ソラリス)で「写真を見る会」が行われた際の写真。

りぎり楽しめる」という声が聞かれたという。また、若い世代の参加者もいて、「フィルム写真はデジタル写真よりもおしゃれに感じる」という人や、「暗室での作業が楽しい」という人もいるそう。世代や好みによっていろいろな意見が飛び交うのも面白い。

「写真をきっかけに話が弾み、自然に人々とのつながりが生まれていくのが展覧会の良いところ」と吹雪さん。

「作品をギャラリーに展示することで、情報としての画像ではなく、写真家が見せたい大きさ、色味、質感など、モノとしての存在を感じてもらえたら」と橋本さん。

また、吹雪さんは次回以降、押し入れに眠っているカメラでの撮影会や、トイカメラの写真展など、さらにニッチな企画を考えている。写真のまち、南船場で、今後も「オオサカ・フィルム・フォトウィーク」を継続していくと、2人とも約束してくれた。



「OSAKA FILM PHOTOWEEK」
ギャラリー・アビィ会場風景。

ギャラリー・アビィ
南船場2丁目2-28 順慶ビル212号室
12:00～19:00(最終日～18:00) 月火休
06-6261-7383
info@g-avi.com map 5



写真教室や額装サービスも行う。

ギャラリー・ソラリス
南船場3丁目2-6
大阪農林会館 地下1階
11:00～19:00 月曜休
06-6251-8108
hello@solaris-g.com map 4



和みの風

商いのまち・中船場に小さいながらも農園ができ、野菜が育っている。薬のまち・道修町にはお地藏さんが戻ってきて、地藏盆が行われている。人と人が交わる場所にはどんな風が吹いているのだろうか？

辰野株式会社不動産事業部開発チーム
cotonなかせんは 運営担当

高瀬洋平さん
大西愛美さん

農園を船場のコミュニティに

緑地も公園も数少ない船場地域の希少な都市公園「久宝公園」。その西隣に2025年3月30日、都市型コミュニティ農園「cotonなかせんば」がオープンした。栽培面積約80㎡というミニサイズながら、季節の野菜や花が育ち、その周りをチョウウやトンボが飛ぶ光景は、



たかせ・ようへい(右) 1991年、広島県生まれ。辰野株式会社不動産事業部開発チーム課長代理。
おおにし・あみ(左) 1998年、徳島県生まれ。辰野株式会社不動産事業部開発チーム所属。



初めての植え付け。メンバーは基本的に7時～19時までいつでも入場できる。軍手やスコップ、ジョウロなどの道具類は貸し出しOKなので、手ぶらで農作業に行けるのも人気のポイント。

まちに住む人や働く人たちの心をほっと和ませている。

「cotonなかせんば」は貸し農園とは違い、登録したメンバーが皆で力を合わせて農園を作り、一緒に野菜や植物を育てるコミュニティ農園。

「作業も、収穫もみんなで見分ち合います。農と食をきっかけに、人と自然、人と人との縁を紡ぎ、まちの暮らしの中に新たな出会いをもたらす、都市の新しいコミュニティの形を目指しています」と、高瀬洋平さん。

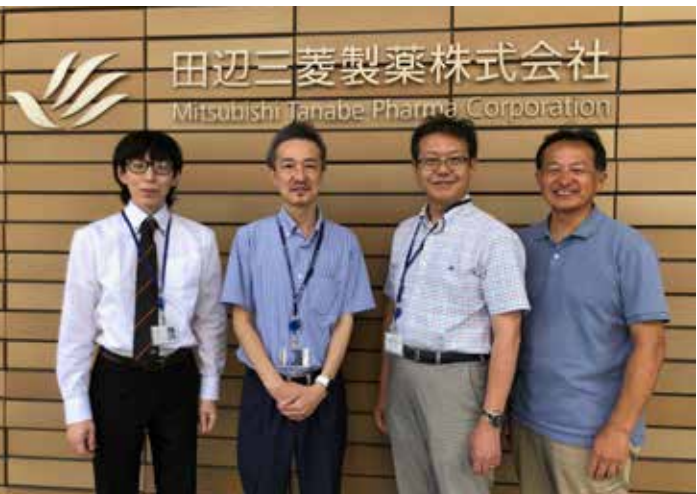
「企画段階から、周辺住民の方々や保育園の先生、造園家、大学の先生など、みなさんと話し合う中で、みんな

としても子どもたちの健康を願う行事が地域に根付けばありがたい」と嘉祥寺さん。

子どもたちの未来に願いを

南北地藏盆は地域振興や活性化への取り組みとして、田辺三菱製薬とグループ会社の従業員の方で運営されている。楽しんでもらえるゲームやサービスを試行錯誤する中、今回新たに折り紙をプレゼントすることに。障がいのある従業員約10人が制作に協力したという。

「手先が器用な人もいるし、夢中になって作ってくれた人もいて、従業員に対する新しい発見もありました。地藏盆は弊社にとってもプラスの影響のある行事です」と大矢優さん。



左から。おおや・ゆたか 田辺パルムサービス株式会社オフィスサービス部。
まつむら・だいすけ 田辺三菱製薬株式会社人事・総務本部 総務部長。
かししょうじ・やすあき 同上、総務部総務部長付。
あおき・のりゆき 同上、総務部総務企画グループ主幹。

が関われるコミュニティ農園という形になりました」と、大西愛美さん。

みんなで栽培・収穫

オープンングセレモニーには約120人が参加。にぎやかにマルシェも出店する中、船場地域に住んでいる子どもたちも参加、「コットン」という掛け声でスコップ入れ式を行ない、初めての植え付けが行われた。夏の収穫時には、化学肥料を使わずに栽培したトマト、キュウリ、トウモロコシなどを、メンバーや保育園の子どもたちと収穫。

「都会の子どもたちにとって土と触れ合うことは新鮮な驚き。思った以上に喜んでくれました。大人も、作業を通して会話や笑顔が自然に生まれているようです」と高瀬さん。近年、船場はタワーマンションが増え、人口が増加傾向。「ここを散歩コースに選んでくれる親子連れも多くなりました」と大西さん。

現在、登録メンバーは約70人。船場に住む人、勤める人、また興味ある遠方の人の入会も歓迎しており、「イベントだけではなく、日常のお世話もコミュニケーションを取りながら楽しんでもらいたい」と現在もメンバーを募集中。9月の体験イベントでは「なにわの伝統野菜」も植え付けたそう。



1825年三代目小西喜兵衛氏の土蔵跡で見つかった「南北地藏菩薩」は、田辺三菱製薬に移譲され本社に安置。その後、加島事業所に移り、2021年閉所に伴い戻る。

「従業員だけでなく、まちの人たちもお地藏様の前で立ち止まってくださる。地藏盆を地域のものにしていければ一番いいですね」と青木教至さん。船場で働く人にも住む人にも

まちの歴史に興味を持ってもらうことが、地藏盆の一つの目標だそう。松村太輔さんは次のように語った。

「ここで地藏盆に参加した子どもたちが弊社や道修町に興味を持ったなら、もしかしたら将来医療に携わる仕事をしているかもしれない。このまち特有の歴史に触れることで、子どもたちの未来がより良いものになればいいですね」

田辺三菱製薬が始めた地藏盆が船場に新たなにぎわいをつくる。子どもも大人も、ここからまちに関わるきっかけを見出すかもしれない。



2022年の初回から毎年参加する児童も。保護者同伴で輪投げやヨーヨー釣りなど楽しんだ。

南北地藏盆

道修町3丁目2-10 田辺三菱製薬株式会社
本社1階 公開空地
8月23日もしくは24日(両日とも休日の場合はその前営業日) map [7](#)



毎年複数の保育園や小学校に地藏盆のチラシを配布。近隣の保育園の園児たちが先生に連れられて参加。街角に微笑ましい空気が漂う。



事業は辰野株式会社(南本町2丁目2-9)が農林水産省農山漁村振興交付金(都市農業機能発揮対策)の採択を受け実施中。

都市型コミュニティ農園 cottonなかせんば

北久宝寺町3丁目 久宝公園西隣
nakasembacafe@gmail.com map [6](#)



ジャガイモの収穫。「お店で買うジャガイモに比べると、形も大きさもイマイチだけど味はおいしかった!」と好評。



復権の風

「糸」のまち、「卸」のまち、船場。その特性を活かしたブランドが立ち上がり、活動を開始した。また、昔のメインストリート「堺筋」の未来のために、周辺の人々が立ち上がった。力強い風が吹いてきた。

協同組合関西ファッション連合副理事長
テキスタイル部会長

高山茂也 さん

協同組合関西ファッション連合事業部長

大西洋市 さん

「船場テキスタイル」ブランド始動

濃紺にシルエットが映えるロゴマーク。白の斜線は「糸」をイメージしている。

生地（テキスタイル）を織り成す糸をロゴマークに採り入れているのは「船場テキスタイル（SEMBA TEXTILE）」。



たかやま・しげや（右） 1961年、北海道生まれ。北高株式会社代表取締役社長。関西学院大学卒業後、19年間の大手電子部品メーカー勤務を経て、父が社長を務めていた北高に入社。2021年より協同組合関西ファッション連合テキスタイル部会長。

おおにし・よういち（左） 京都府生まれ。同連合事業部長（事業推進統括）。繊維製品品質管理士。中小企業組合士。



2025年2月にベトナムで開催された国際テキスタイル展示会に出展した「船場テキスタイル」のブース。共同で出展したブースのほかに、「船場テキスタイル」に参加するそれぞれの生地卸会社の独自のブースにも、ロゴを掲示してアピールした。

ているカンファ事業部長の大西洋市さんは、「注文をいただくと、すぐに商品を提供できる機能があるわけです。注文を受けてから作っていると世の中の情勢も変わります。特に最近は変化が速い。船場には情報収集力と企画力でリスクを取ってストックする商売のDNAが何百年も引き継がれてきました。これは世界的にも希少なスタイル」と強みの背景にある歴史を説明する。

「メイド・バイ船場」で世界に進出

「各社とも立派な業績を残していますが、国内市場の縮小も進みます。新たな成長戦略として船場をブランド化し各社が一体となり独特のストックサービスを武器に海外にアピールしていくのが我々の目的」と高山さん。

2025年2月にはベトナムの国際テキスタイル展示会に出展。9月には東京・渋谷で日本と中国の計40ブランドと合同展を開催し、デザイナーの意見や要望に耳を傾けた。

船場テキスタイルは産地ブランドではなくビジネスモデルに付与される地域商業ブランド。目指すのは「メイド・イン（made in）」ではなく「メイド・バイ（made by）船場」と高山さん。物理的な空間を超えて世界を舞台に船場の復権に挑む。

堺筋を考える会副会長

西小路俊之 さん

集英連合振興町会会長

大橋達夫 さん

「堺筋を考える会」が動き出した

船場を貫く幹線道路の一つ、堺筋。江戸時代には紀州藩の参勤交代の大行列が通り、近代には市電が走り百貨店が立ち並ぶ「大大阪」のメインストリートだった。現在も堺筋には大阪取引所をはじめ、銀行や企業の高層ビルがそびえ立ち、交通量も多い。

近代建築が点在する歴史ある堺筋をどう次世代につなぐべきか、未来を見据えたまちのビジョンづくりとその実現に向けて、2023年6月「堺筋を考える会」が発足した。堺筋沿いの企業を中心に当時10団体ほどだった正会員は、2025年9月現在31団体となり、着実に仲間を増やしている。

同会の副会長を務めるのは、株式会社大阪取引所に約30年にわたり勤務する西小路俊之さん。発足のきっかけを次のように語った。「金融街だった堺筋に高層マンションが建ち、住む人や、散策する人が増えるなど、まちの様子が変わるのを見ってきました。堺筋沿いの企業の方々もそれぞれ、まちに対する思いを抱いていても、一緒に未来を描いていく



にしこうじ・としゆき（左） 1972年、京都市生まれ。大阪証券取引所（現株式会社大阪取引所）に入社、現在は金融リテラシーサポート部部長。堺筋に縁のある方々と連携して活動。おおはしたつお（右） 1951年、北浜生まれ。大橋工務店、大橋BUILDING代表。集英連合振興町会会長、北浜水辺協議会会長、船場倶楽部理事長など地域活動に積極的に取り組む。

堺筋を充実した誇れるまちに

会として、これまでにシンポジウムや講演会のほか「堺筋まちかど写真展」や音楽コンサートを行ってきた。船場に集うさまざまな人が参加し、手応えを感じているという。そして新たな取り組みとして、「街路樹跡の花壇化」を大阪市の了承のもと、同会と集英地域活動協議会との協働で進めることが決定した。堺筋は市電の開通とともに、プラタナスを街路樹とした大阪で初めての近代的街路となり、以降、柳やユリノキが植えられてきた。しかし、今後は街路樹のあり方を考える必要が



船場における堺筋の起点、北浜1丁目にある大阪証券取引所ビル1階（map19）のアトリウムで開催された、ランチタイムコンサート。

あると集英連合振興町会会長の大橋達夫さんはいう。

「過去に大きな街路樹が倒れたこともあって、維持が難しい現実があります。手をこまねいて荒れていくのを見るのはしのびない。そこで、花でまちをきれいにしたいと考えました。まちを歩く人もボー捨てをしようとは思わないでしょう。小さな活動ですが、50年先も堺筋を文化的にも充実したまちとして誇れるようにする最初の一步です」と大橋さん。

「木造建築、近代建築、現代的なビル、また老舗があったりカフェがあったり、時代の要素が混じり合い積み重なっているのは、堺筋の個性です。そんな魅力も発信していきたい」と西小路さん。

未来にどんなまちの姿の一つのビジョンとして、同会は見せていくのか。堺筋に思いを馳せる人がいることこそが、その無限の可能性を示しているように感じる。今後の会の活動に期待したい。



堺筋を中心に土佐堀通から長堀通、三休橋筋から東横堀川までを、活動対象地域としている。

堺筋を考える会

本町2丁目2-8
大阪商工信用金庫総務部内
sakaisuji@osaka-shoko.co.jp map 9



堺筋のまちの思い出の写真を集めた「堺筋まちかど写真展」には、近隣の企業や住人から写真を募集。近代建築ファンを含め、多くの人が訪れる。※情報はp16参照



濃紺に白抜きの「船場テキスタイル」のロゴマーク。アイコンには「ビリケンさん」の面影を重ねた。

船場TEXTILE

関西ファッション連合内
瓦町2丁目6-9 大織健保会館7階
06-6228-6525 map 8



2025年9月8日と9日、東京・渋谷で開催されたデザイナーとの合同展「CENTER TOKYO」。船場テキスタイル参加企業9社のほか、日本のデザイナーズブランド30社、中国のトップブランド10社が出展。



堺筋のランドマーク 大阪取引所 (旧 大阪証券取引所)

江戸時代に始まった「淀屋米市」、その後「堂島米会所」が幕府に公認され、世界で初めてデリバティブ取引が行われた。大阪取引所は、2013年に東京証券取引所と経営統合、日本取引所グループの一員となり、堂島のDNAを受け継ぎながら、先物・オプション取引などのデリバティブ市場を運営している。

建物5階には、取引所の歴史や資産運用について学ぶことができる施設「OSEギャラリー」があり、自由に見学が可能。大阪株式取引所の設立当初の文献や、立会場の変遷などがわかる展示コーナーのほか、模擬売買が体験できるシミュレーターも設置。
<https://www.jpx.co.jp/corporate/learning/tour/ose/01.html>
9:00～16:30 (受付は～16:00) 土日祝休 06-4706-0800
北浜1丁目8-16
map [19](#)

※表紙の人物は、上記「大阪取引所」前に像が立つ、五代友厚。

※掲載した情報は、2025年10月1日時点のもので、都合により変更される場合がありますので、ご了承ください。訪れる際は各施設のホームページなどで必ずご確認ください。

南船場のお地藏さん 「油掛地藏尊」

油掛地藏尊は約1300年前のものと伝わる。「古事記」や「日本書紀」にも記載されているといい、悪疫の退散・火防などのご利益があるとされ、お参りの人が絶えない。
以前は拝む際に油をかけていたが、現在はかけずに拝む。油をかけるのは、昔この地藏が、油を注がれそうになった女性の身代わりとなって助けたという説がある。石仏に災いを引き受けてもらう形代(かたしろ)信仰のひとつともいわれる。
<https://www.city.osaka.lg.jp/chuo/page/0000636617.html>
南船場1丁目12-29
map [16](#)

東横堀川・本町の曲がり 「曲り淵地藏尊」

東横堀川が、本町橋から農人橋の間で、S字を描いている所があり「本町の曲がり」と呼ばれていて、この西側に曲り淵地藏尊がある。
かつては、曲がり方はS字カーブではなくクランク状で、川幅が広く水流も多かったため、水難事故が絶えず、身投げも少なくなかったことから、付近の住民らによって、お地藏さんがまつられたそう。カッププが出るという話もあったらしい。上方落語「饅頭こわい」にも登場する。
南本町1丁目1
map [17](#)

かつての繊維問屋街 「井池ストリート」

船場センタービルの7号館と8号館の間の南北の道が、井池筋。そのうち、本町通から南久宝寺までの通りが「船場・井池ストリート」。戦後は繊維問屋街として再建され、現在は、その景観を活かしながら、新しい商業施設や飲食店が立ち並ぶ。
ストリートには、総合卸商社をはじめ、テキスタイルを小売りしてくれる店があるほか、繊維の共同販売場だった「有限会社大阪繊維共同販売所 OSKビル」では、カフェなどさまざまな店が営業しており、また大正時代に建てられた「井池繊維会館」は2016年にリノベーションされ、2021年に登録有形文化財に指定されている。歩くのが楽しい道だ。
<https://dobuikestreet.com/>
map [18](#)

船場地域で貴重な市営公園 「久宝公園」

「cotonなかせんば」の隣にある公園「久宝公園」は、緑の少ない船場地域にある貴重な市営公園。1973年に開園した。最近では地域にマンションが増えたこともあり、子どもの数も増加しているため、この公園は貴重な遊び場。幼児のための、滑り台やブランコなどが設置されており、平日の日中は周辺にある保育園の園児たちでにぎわう。
また、年に一度、秋の夕方～夜、手持ち花火を楽しむ「パーク花火in久宝公園」が開かれる。これは「子どもが大好きな花火を、お友達と家の近所で楽しみたい!」という船場に住む親の切実な声をきっかけに生まれた。企画・運営は若手チームの集まりチームcobon、主催は中船場活性化連絡会・愛日地域活動協議会。
北久宝寺町3丁目1
map [13](#)

道修町の関連情報 「道修町ミュージアムストリート」

日本の医薬品産業発祥の地といわれる道修町。その道修町通の約300mに医薬品に関する展示施設が6つあり、「道修町ミュージアムストリート」と呼ばれる。西から、「塩野義製薬本社展示コーナー」「田辺三菱製薬史料館」「住友ファーマ展示Gallery」「武田科学振興財団 杏雨書屋(きょううしょおく)」「くすりの道修町資料館」「旧小西家住宅史料館」。
<https://www.mtpc-shiryokan.jp/map/>
map [14](#)

テキスタイルを買うなら船場で 「船場センタービル」

「船場テキスタイル」の参加企業は、生地卸のため、個人が直接小売りで購入することができない。しかし、船場は「糸へん」のまち。中央大通にある長さ1000mの「船場センタービル」には、生地問屋が並び、小売りをしてくれる店も多い。繊維の卸問屋が軒を連ねているのは、御堂筋と堺筋の間にあたる4号館から9号館。
<http://www.semba-center.com/>
原則9:00～18:00 (飲食フロア～22:00) 年末年始・盆&第2～5日曜(5月31日と12月の日曜は営業 ※休館日は変更の可能性あり ※2025年の年末までは、第3日曜のみ休) 06-6281-4500
船場中央1丁目～4丁目
map [15](#)

船場の新名所？ 「船場のビリケンさん」

「ビリケンクリエイターズオーサカ」を一般財団法人大阪デザインセンターと共に開催している田村駒株式会社。同社が創業130周年を迎えるにあたり、創業の地である船場の大阪本社前の公開空地に、2024年3月、ビリケンのブロンズ像を建立。ビリケン足を触るとご利益がある“福の神”といわれる。その足のそばには二次元コードが設置されていて、スマートフォンをかざすと、きょうの占いができる楽しい仕組みも。像は、安土町通にあり、近くには「まちの案内板」も設けられていて、まちの歴史や魅力を知ることができる。
<https://tamurakoma.co.jp/news/4055/map> [10](#)



写真関連施設1「大阪写真会館」

南船場にあり、高度経済成長期の1963年建築のビル内には、クラシックカメラ、アンティークカメラ、水中カメラの各専門店が数店、また衣料問屋、フィットネスクラブなどのテナントが店舗を構えている。2021年からは1階に、家具ブランド「TIME&STYLE」がオープンし、モダン建築とインテリアが融合した新しい魅力を発信。
<https://www.osaka-shashinkaikan.com/>
06-6261-4277 南船場2丁目7-14
map [11](#)

写真関連施設2 「富士フィルムフォトサロン 大阪」

写真文化の発信基地として、プロの写真家によるテーマ展や、一般公募により選ばれたアマチュアの作品展、グループ展などさまざまな写真展を実施。写真の素晴らしさをじっくり堪能できる。
<https://www.fujifilm.co.jp/photosalon/osaka/>
10:00～19:00(木曜～14:00/入館は終了10分前)年末年始休 06-6205-8000 本町2丁目5-7 メットライフ本町スクエア1階
map [12](#)

本願寺津村別院 (北御堂) 「北御堂ミュージアム」

「COWDAY STREET」が催される北御堂の山門下1階にあるミュージアムは、単なる一寺院の歴史ミュージアムではなく、大阪の成り立ちに始まり、「寺内町」から近代都市「商都大阪」へ変貌していく、大阪の歴史情報満載のミュージアム。「大坂」という地名の初見、信長・秀吉・家康など戦国武将と本願寺の関わり、明治維新の立役者と津村別院、御堂筋の名前の由来など、大阪の歴史・政治・経済・文化と信仰の関わりを、最新の学術研究に基づいた「大坂本願寺・寺内町復元模型」や、16世紀大坂の「大パノラマ図」などで、分かりやすく紹介している。
<https://kitamidomuseum.jp/>
入場無料 10:00～16:00 原則として無休 06-6261-6796
map [1](#)

水辺のパブリックスペース 「β本町橋」

「スポGOMI」会場の拠点となるβ本町橋は、まちづくりの拠点としての機能を持つ複合施設。レンタルスペース、ショップ、レストラン・カフェ(予約制)のほか、SUPやクルーズを楽しむことができる。毎週日曜10時の地域清掃や子どもの居場所事業は近隣から親子参加も。「スポGOMI」開催日は、店内や公園で楽しめるようテイクアウトドリンクやスイーツを販売。休憩時間などに利用したい。
<https://hommachibashi.jp/>
06-7504-1846
map [2](#)

道修町の関連情報 「田辺三菱製薬 史料館」

「南北地藏尊」のある田辺三菱製薬株式会社本社の2階にある企業ミュージアムは2025年、開館10周年を迎えた。道修町で育まれた日本の医薬品産業の叡智と未来を、340年を超える田辺三菱製薬の歴史とともに紹介している。
創業当時の軒下看板や提灯、明治期の「田邊屋」を原寸で再現した店先など、昔の道修町の風情が感じられるほか、大正時代から現在までの歴史や、また現在から次代への未来の姿を紹介している。
ほかに、田辺三菱製薬株式会社では、年2回「道修町たなみん寄席」を主催。
<https://www.mtpc-shiryokan.jp/>
map [7](#)



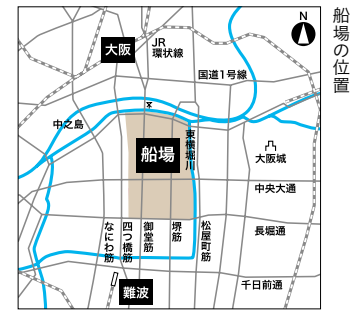
「船場の新風」 お散歩情報

特集に関連する施設をご紹介します。
船場の散歩をお楽しみください。



船場ガイドブック 2025 MAP

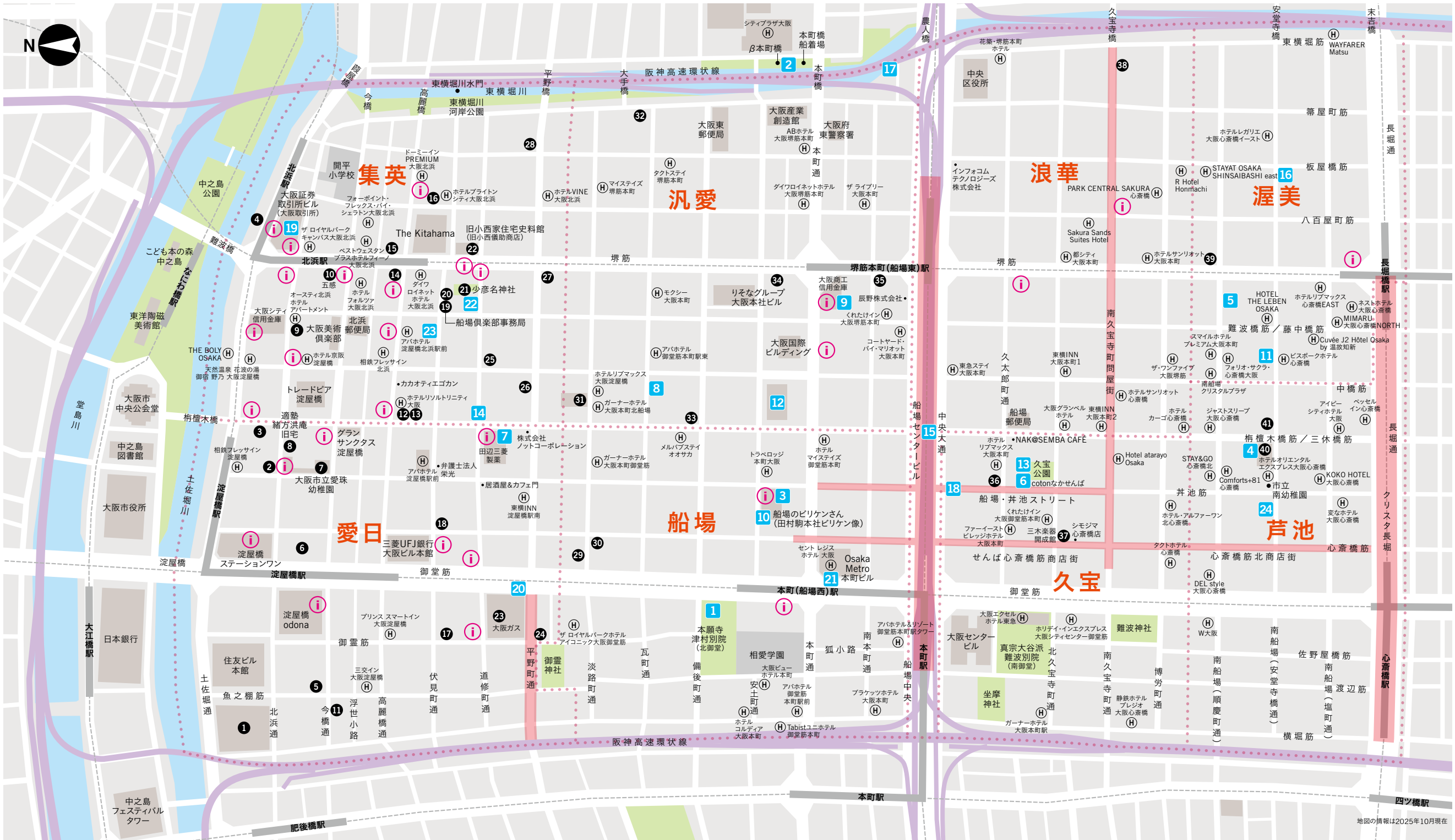
- P3～P16
船場の新風／船場のイベント
- 連合振興町会区域
- 船場まちの案内板
- ホテル
- 公園・神社等
- 商店街



船場の近代建築

- 三井住友銀行大阪本店ビル
- 三共商事
- 吉田理容所
- 北浜レトロビルディング
- 大阪倶楽部
- 日本生命保険相互会社本館

- 大阪市立愛珠幼稚園
- 適塾
- 中村健法律事務所
- 新井ビル
- 今橋ビルディング
- (旧中央消防署今橋出張所)
- 旧大阪教育生命保険ビル
- 日本基督教団浪花教会
- 高麗橋野村ビルディング
- 三井住友銀行大阪中央支店
- 高麗橋トキワビル
- 銭高組分室(旧小西平兵衛邸)
- 伏見ビル
- 青山ビル
- 少彦名神社
- 旧小西家住宅史料館
- (旧小西儀助商店)
- 大阪ガスビル
- 北野家住宅
- 武田道修町ビル
- 小川香料
- 生駒ビルディング
- 三栄源エフエフアイ
- 清水猛商店
- 興和炭心ビル(旧板谷歯科医院)
- 船場ビルディング
- 岸本瓦町邸
- 綿業会館
- ハウザー堺筋本町駅前ビル
- 風蘭ビル(旧明治屋南本町ビル)
- 井池織維会館
- 三木楽器 開成館
- クツワ株式会社
- 堺筋倶楽部
- (旧川崎貯蓄銀行大阪支店)
- 大阪農林会館
- 原田産業







“いい時代と、いい音楽のために”

三木楽器株式会社

1825年創業。音楽への探求を続け、音楽文化の発展とともに2025年に200周年を迎えました。

ピアノ専門店 三木楽器開成館

営業時間：10:00～19:00(水曜定休)
所在地：北久宝寺町3丁目3番4号
電話：06-6252-1820
WEB：https://www.miki.co.jp



国登録有形文化財

居酒屋&カフェ 門

昼の人気は唐揚げビリ辛ゴマ、チキン南蛮など、夜の人気は石焼きタコちゃんチーズカレーです。祖父の時代から65年以上たちました。頑張ります。

営業時間 11時～13時45分／17時～10時45分
土曜は貸切予約のみ 日祝休

電話 06-6231-8509
Eメール youtora813@gmail.com
住所 中央区道修町3-3-12



(株)シモジマ心斎橋店

文房具から包装紙、店舗用品、キャラクター雑貨まで約70,000点の幅広い品揃えを誇るお店です。すべて卸価格ですが、どなたでもご利用いただけます。是非一度お立ち寄りください。

営業時間 10時～18時半
定休日 不定休
電話 06-6252-4361
住所 中央区北久宝寺町3-3-8

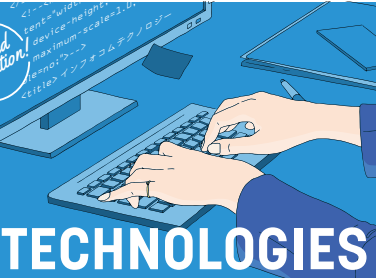




インフォコム
テクノロジーズ株式会社

〒541-0056 大阪府大阪市
中央区久太郎町1丁目6番29号
JRE堺筋本町スクエア13階

INFOCOM TECHNOLOGIES





弁護士法人栄光
栄光綜合法律事務所



迅速で、クライアントの視点に立った、
案件解決の戦略と戦術

企業法務・内部通報・相続などあらゆるご相談に対応いたします。

弁護士 梅本 弘 弁護士 池田佳史 弁護士 嶋津 裕介

弁護士 池野由香里 弁護士 森田 豪 弁護士 木ノ島雄介

弁護士 井上 彰 弁護士 吉本達哉 弁護士 河野加奈子

〒541-0044 大阪市中央区伏見町3丁目2番4号
淀屋橋戸田ビル2階

TEL 06-4707-1251 / FAX 06-4707-1252

協賛広告

※広告に記載している休業日・営業時間などは変更される可能性があります。

ビリケン座 船場 de フロイデ!

12月20日(土)

第1回公演13時～、第2回公演17時～

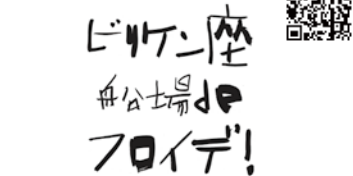
ビリケンさんが支配人を務める謎の劇場、ビリケン座。あのベートーヴェンの第九歓喜の歌、アン・ディ・フロイデを講師旭堂南歩とオペラ歌手池田真己が競演する感動のコラボレーション。

会場：田村駒株式会社大阪本社2階ホール **3**

主催：ビリケンクリエイターズオーサカ実行委員会

https://www.billiken.jp/billikenza/





BILLIKEN CREATORS OSAKA 2026 (p5 参照)

2026年3月12日(木)～3月15日(日)

“ビリケンをアートに”“オーサカを元気に”するアートイベント第6弾。100名以上のクリエイターの作品を展示・販売いたします。

会場：田村駒株式会社大阪本社2階ホール **3**

主催：ビリケンクリエイターズオーサカ実行委員会

https://www.billiken.jp/bco-index/



北御堂芸術祭—あそべばアート

2026年3月17日(火)～23日(月)

これは何？ 若い現代アート作家のアレコレもパッションあふれる日本画も、これは何？「北御堂芸術祭—あそべばアート」は、みんなで楽しむ船場の手作り“新型イベント”です。

会場：北御堂(浄土真宗本願寺派本願寺津村別院) **1**

主催：(一財)大阪市コミュニティ協会

https://note.com/communityresort





“船場ドラゴン”立体切り絵師・辻笙さん提供

船場シェアドストリート 社会実験

2026年2月～3月初旬のいずれか3日間(金～日)

船場倶楽部で策定した未来ビジョン船場CCDに基づき、新たな道路活用「大阪版シェアドストリート」の実装を目指して毎年社会実験を実施しています。

会場：久宝連合町会区域内を予定

主催：船場まちづくり検討会





神農祭(例大祭)

11月22日(土)・23日(日祝)

大阪の1年を締めくくる「とめの祭り」としてにぎわい、大阪市無形文化財(民俗行事)に指定されている少彦名神社の例大祭(神農祭)。道修町一帯に屋台が並びます。

会場：少彦名神社(道修町2-1-8) **22**

主催：少彦名神社

https://www.sinnosan.jp/





古典金継ぎ体験 ～金の装飾～

11月22日(土)・23日(日祝)

金継ぎの第一人者監修のもと、古典金継ぎの体験をしませんか？ 各日14時から15時半。税込¥29,700(お茶・お菓子付)完全予約制

会場：Glassowa (旧CuteGlass Shop and Gallery) (伏見町2-4-4) **23**

主催：日本精工硝子株式会社

お問い合わせ・ご予約：
TEL 06-6226-8360





南船場もちつき大会

12月7日(日)11時～ 雨天決行

今年で10回目となる地域の恒例イベント。みんなでお餅をついて、一緒に食べよう！

会場：芦池グラウンド(芦池小学校跡)

南船場会館(南船場3-7-12) **24**

主催：淀美地区地域活動協議会、芦池地域活動協議会

https://www.atsumi-osaka.net/



船場のイベント情報

堺筋まちかど写真展 (p10 参照)

10月25日(土)～11月24日(月休)

堺筋周辺の会社等が保有する昔の写真の特別展示。写真展の後は、堺筋を散策し、まちの魅力を再発見してください。

会場：大阪証券取引所ビル1階アトリウム **9**

主催：堺筋を考える会

https://sakaisuji.net/



スポGOMI in 東横堀川 2025 (p4 参照)

11月16日(日)

スポGOMI 連盟が考案したスポーツと社会奉仕活動を融合したスポーツ。拾ったゴミの質と量を競い船場のまちをきれいにしませんか？

会場：β本町橋 **2**

主催：インフォコムテクノロジーズ株式会社



Semba Event Information



船場博覧会2025

11月17日(月)～23日(日祝)

船場の地域資源を活用してまちの歴史と文化を発信。写真展や各種セミナー、普段は入れない近代建築を会場にしたイベントなど、多彩なプログラムを催します。

主催：船場博覧会実行委員会

https://semba-navi.com/event/sembaexpo2025/



COWDAY STREET 2025 in大阪・北御堂 (p3 参照)

11月22日(土) 10時～21時
23日(日祝) 10時～15時

雪をテーマにした体験型イベント。めったに雪の積もらない大阪の街中で雪遊び体験やスノーボードの体験会、そしてプロスノーボーダーによるパフォーマンスをお楽しみください。

会場：北御堂(浄土真宗本願寺派 本願寺津村別院) **1**

主催：COWDAY STREET 実行委員会

https://www.cow-day.jp/snow/





御堂筋インフィオラータ2025

10月22日(水)～26日(日)

花びらのアート「インフィオラータ」を御堂筋沿道の建物に設置します。イケフェスで公開される建物とともに楽しみください！

会場：御堂筋(淀屋橋～本町)の沿道 **20**

主催：(一社)御堂筋まちづくりネットワーク

https://www.midosuji.biz/





生きた建築ミュージアム フェスティバル大阪2025

10月25日(土)・26日(日)

日本最大級の建築一斉特別公開イベント。秋の大阪で生きた建築たちがその扉を開きます。12回目の今回は199件の建物等が参加予定！公式ガイドブックは主要書店で発売中。

主催：(一社)生きた建築ミュージアム大阪

https://ikenchiku.jp/





地下鉄と本町の歴史展

10月25日(土)～11月14日(金)

Osaka Metro 本町ビル1階のパブリックスペースで本町と地下鉄の歴史を紹介する特別展示を開催。イケフェス恒例のクロージングトークも開催します。

会場：Osaka Metro 本町ビル(本町3-6-4) **21**

主催：大阪市高速電気軌道株式会社

https://om-hommachi-bldg.jp/





夜イベント開催しました

船場の街にトウモロコシ

大阪市中央区北久宝寺町3久宝公園 西隣り 都市型コミュニティ農園“coton なかせんば”HP

NAK@SEMBA CAFE

毎週水曜日の午前11時から午後5時まで無農薬野菜やオーガニックな果物を販売しています。2025年4月に開設予定の都市農園プロジェクトも進行中です。

@nakasemba_cafe
営業時間 10時～18時
(土日祝休み)
辰野株式会社 不動産事業部
開発チーム TEL:06-6263-2511
大阪市中央区久太郎町3-2-11 船場エクセルビル1階

水曜ミニマルシェ開催中



三倉美奈 三倉佳奈
※写真はイメージです

未来を創る、大阪から世界へ

一人ひとりが輝く明日を

信頼で地域とつながる
大阪シティ信用金庫

本店/〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4 TEL. (06) 6201-2881 (代表)
<https://www.osaka-city-shinkin.co.jp/>

大阪府内に85店舗。大阪市内全24区に店舗を有する唯一の地域金融機関です。
令和7年10月1日現在



GOKAN
Pâtisserie de Paris

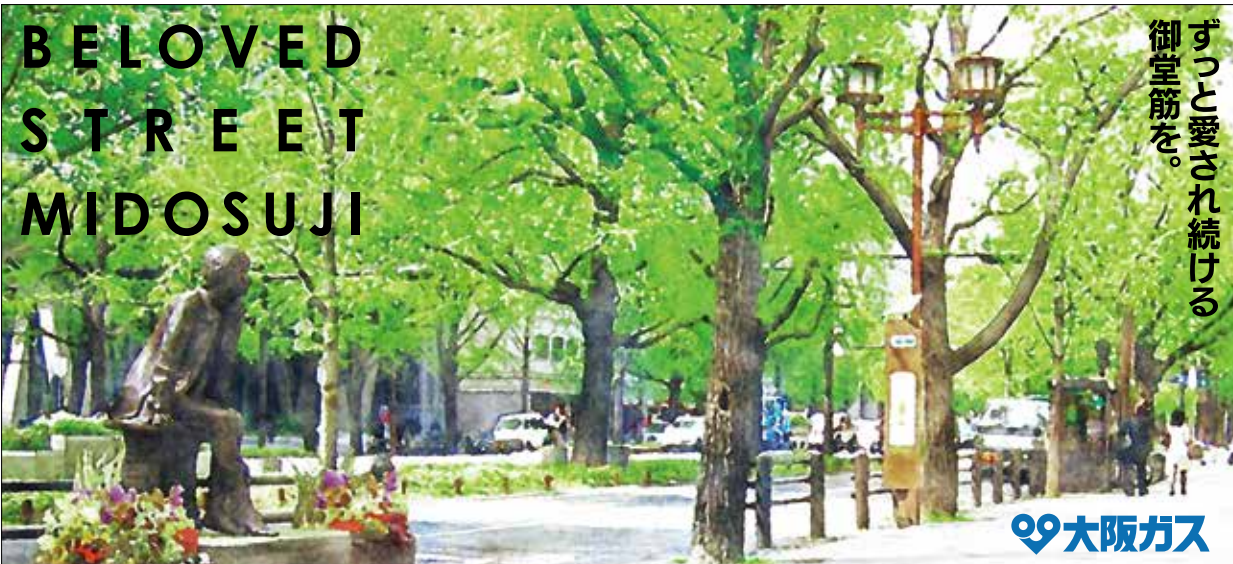
五感 北浜本館

大阪市中央区今橋
2-1-1新井ビル
TEL.06-4706-5160
<http://www.patisserie-gokan.co.jp>

Cacaotier Gokan
Chocolat et Glace

カカオティエゴカン

大阪市中央区高麗橋2-6-9
TEL. 06-6227-8131
<http://cacaotier-gokan.co.jp>



BE LOVED STREET MIDOSUJI

ずっと愛され続ける御堂筋を。

大阪ガス



地域の皆さまとともに 信用金庫

大阪商工信用金庫

けろけろけろっぴは
大阪商工信用金庫の公式イメージキャラクターです。



knot CORPORATION

COMPANY THAT CREATES THE FUTURE.

既存建築物のリモデルに関する企画・設計・施工

株式会社ノットコーポレーション
knot corporation inc.

06-4706-5596

BILLIKEN CREATORS OSAKA 2026

3.12 Thu
3.15 Sun
COMING SOON

あなたの一票が参加アーティストを支える
大きな力になる!!! オーディエンス賞開催!!!

主催 ビリケンクリエイターズオーサカ実行委員会
共催 ODC TAMURAKUMA
協力 MEBIC

会場 田村駒株式会社 大阪本社2階ホール

BILLIKEN CREATORS OSAKA PRESENTS 第一回ビリケン座興行

ビリケン座 第9公演 フロイド!

あのだてーヴンの第九歓喜の歌、アン・ディ・フロイドを講師旭堂南歩とオペラ歌手池田真己が競演する感動のコラボレーション

会場 田村駒大阪本社 2Fホール 大阪市中央区安土町3-3-9

TICKET 税込 前売券 ¥3,500 当日券 ¥4,000
お問合せ/ contact@billiken.jp
主催/ビリケンクリエイターズオーサカ実行委員会

大阪船場ロータリークラブは船場のまちづくりを応援しています

Rotary

大阪船場ロータリークラブ
The Rotary Club of Osaka Semba

tel. 06-6244-1008
e-mail. semba@cocoa.ocn.ne.jp




2025年6月 国際奉仕バリ島訪問



《船場とはどんなまち》

豊臣秀吉による大阪城の築城に合わせて生まれたまちです。

江戸時代には、水運の拠点として全国から人と情報を集め「天下の台所」、大正期には、繊維産業などの工業化を進め「大大阪」と呼ばれた大阪の中心地でした。

今も昼間は約20万人が集中する業務都心に変わりありませんが、商業・業務機能がキタとミナミへ集中するなかで、新しい都心「船場」の魅力が生まれつつあります。



《船場倶楽部の活動》

2000年初頭より船場のまちをげんきにする、さまざまなまちづくり活動がスタートしました。2015年に連合振興町会、商店街、神社、法人企業、まちづくり団体からなる「船場倶楽部」が発足。まちの歴史・文化を引き継ぎながら、未来に向け魅力ある船場の姿を求めて、まちづくりに取り組んでいます。

会員：正会員(地域連合振興町会、商店街、まちづくり団体、法人企業) 92名
賛助会員(法人、個人) 67名 (2025年9月現在)

一般社団法人船場倶楽部 事務局

〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目2-3 伏見ビル1階
info@sembaclub.com www.sembaclub.com



船場ナビ 船場の情報をまとめて発信する「船場ナビ」

イベント情報や日常風景をウェブ・SNSで発信
まち歩きで使えるGPSイラストマップも公開中

船場ナビ

検索



船場ガイドブック2025

発行日：2025年10月25日

制作・発行：集英地域活動協議会、一般社団法人船場倶楽部

編集会議：岡崎秀俊、谷口康彦、千葉桂司、塚村真美、三谷直子、米田佳代

デザイン：ツムラグラフィック イラスト：川口澄子 取材・執筆：植田朋子、八木菜摘ほか

編集協力：株式会社ワークルूम、稲垣諭

この船場ガイドブック2025の制作にあたり

集英地域活動協議会が大阪市中央区地域活動協議会補助金を

船場倶楽部が公益財団法人東教育財団の地域文化事業助成を受けています